

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3 年	2	選択
担当教員			
熊倉 浩靖			
B（経営学科）	S（専門科目）	CS（地域）	305（上級科目）

授業のねらい（概要）	2011年市町村振興の指針「総合計画」策定が任意となり、2015年最後の全国総合開発計画が終了した。底流にあるのは右肩上がり人口・経済の終焉。特に地方においては人口減少・少子高齢化が著しい。地方は、地域に関わる全ての人や組織が多様な資産を活用して存立・持続を図らざるを得ない。そこで今回、富岡市・みなかみ町・長野原町・玉村町・館林市・東吾妻町を例に、最新の市町村財政状況資料集、総合戦略、NIRA型BM（行政評価BM）等の分析を基礎に、各市町村職員と直接意見交換することで、地域に生きる社会人としての資質を育成する。
授業計画	第1回 【遠隔】地域研究1-1 富岡市1 財政状況資料等分析 予習 群馬県HPより富岡市の財政状況資料をDLし要点を整理、質問したい点を整理（120分） 復習 NIRA型BM分析を整理し富岡市の課題と解決方向を各自の視点で整理（120分） 第2回 【遠隔】地域研究2-1 みなかみ町1 予習 群馬県HPよりみなかみ町の財政状況資料をDLし要点を整理、質問したい点を整理（120分） 復習 NIRA型BM分析を整理しみなかみ町の課題と解決方向を各自の視点で整理（120分） 第3回 【遠隔】地域研究3-1 玉村町1 予習 群馬県HPより玉村町の財政状況資料をDLし要点を整理、質問したい点を整理（120分） 復習 NIRA型BM分析を整理し玉村町の課題と解決方向を各自の視点で整理（120分） 第4回 【遠隔】地域研究4-1 長野原町1 予習 群馬県HPより長野原町の財政状況資料をDLし要点を整理、質問したい点を整理（120分） 復習 NIRA型BM分析を整理し長野原町の課題と解決方向を各自の視点で整理（120分） 第5回 地域研究5-1 館林市1 予習 群馬県HPより館林市の財政状況資料をDLし要点を整理、質問したい点を整理（120分） 復習 NIRA型BM分析を整理し館林市の課題と解決方向を各自の視点で整理（120分） 第6回 地域研究6-1 東吾妻町1 予習 群馬県HPより東吾妻町の財政状況資料をDLし要点を整理、質問したい点を整理（120分） 復習 NIRA型BM分析を整理し東吾妻町の課題と解決方向を各自の視点で整理（120分） 第7回 地域研究1-2 富岡市2（富岡市職員による講話・質疑） 予習 富岡市HPから総合戦略をDLし第1回講義と合わせて職員への質疑を準備（120分） 復習 富岡市職員による講話を踏まえた富岡市地域振興への提案を準備（120分） 第8回 地域研究2-2 みなかみ町2（みなかみ町職員による講話・質疑） 予習 みなかみ町HPから総合戦略をDLし第2回講義と合わせて職員への質疑を準備（120分） 復習 みなかみ町職員による講話を踏まえたみなかみ町地域振興への提案を準備（120分） 第9回 【課題】地域研究1-3・2-3 富岡市3・みなかみ町3 予習 富岡市・みなかみ町地域振興への提案を整理（120分） 復習 富岡市・みなかみ町地域振興提案への教員によるコメントを整理（120分） 第10回 地域研究3-2 玉村町2（玉村町職員による講話・質疑） 予習 玉村HPから総合戦略をDLし第3回講義と合わせて職員への質疑を準備（120分） 復習 玉村町職員による講話を踏まえた玉村町地域振興への提案を準備（120分） 第11回 地域研究4-2 長野原町2（長野原町職員による講話・質疑） 予習 長野原町HPから総合戦略をDLし第4回講義と合わせて職員への質疑を準備（120分） 復習 長野原町職員による講話を踏まえた長野原町地域振興への提案を準備（120分） 第12回 【課題】地域研究3-3・4-3 玉村町3・長野原町3 予習 玉村町・長野原町地域振興への提案を整理（120分） 復習 玉村町・長野原町地域振興提案への教員によるコメントを整理（120分） 第13回 地域研究5-2 館林市2 予習 館林市HPから総合戦略をDLし第5回講義と合わせて職員への質疑を準備（120分） 復習 館林市職員による講話を踏まえた館林市地域振興への提案を準備（120分） 第14回 地域研究6-2 東吾妻町2 予習 東吾妻町HPから総合戦略をDLし第6回講義と合わせて職員への質疑を準備（120分） 復習 東吾妻町職員による講話を踏まえた東吾妻町地域振興への提案を準備（120分） 第15回 【課題】地域研究5-3・6-3 館林市3・東吾妻町3 予習 館林市・東吾妻町地域振興への提案を整理（120分） 復習 館林市・東吾妻町地域振興提案への教員によるコメントを整理（120分）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	市町村財政状況資料等の分析と各市町村の政策・企画担当職員との意見交換を通して、商学部4つのDP、特に4）「大学での学びを地域に還元し、価値を創造する姿勢」及び経営学科DPの2）「経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）を多角的に理解し、活用できる能力」を磨く。
到達目標	1）公会計・行政評価という企業会計とは異なる経営分析を知ることによって経営に対する視野を拡張する。 2）地域存続のためには多様な人や組織が協力して地域の各種資源を活用すべきことを理解する。 3）市町村の最前線で奮闘している職員との意見交換を通して、地域における課題解決への努力を実感する。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	6つの地域研究ごとにレポートを提出する。
履修上の注意	1）市町村財政状況資料集等は丹念に読み、自分での分析を試みることに。 2）市町村職員の講話は丁寧に聞き、積極的に自分の意見を表明すること。

	3) 他のメンバーの質問への回答も丁寧に聞き、自分の意見をさらに高めていくこと。
成績評価の方法・基準	6つの地域研究レポートを総括した最終レポートで評価する。 評価の基準は、履修上の注意を生かしたレポートになっているかにおく。
教科書	なし（毎回必要な資料や映像を配布あるいは提示する）
参考書・教材	自ら進んで地域研究対象とした市町村に関する資料、パンフレット等を図書館、ネット等で入手すること。 最新の市町村財政状況資料集は県のホームページ https://www.pref.gunma.jp/07/a4900420.html にあるので、それを入手すること。また各市町村の総合戦略も各市町村ホームページから入手すること。
備考	講義科目 2020年度は、9、12、15回を課題研究として学修する。 第9回 第1・2・7・8回講義を対象にmelly等で指示を出しmelly等で回答。全体で330分の学修を想定。 第12回 第3・4・10・11回講義を対象にmelly等で指示を出しmelly等で回答。全体で330分の学修を想定。 第15回 第5・6・13・14回講義を対象にmelly等で指示を出しmelly等で回答。全体で330分の学修を想定。
教員との連絡方法	①Melly「地域振興論」 ②教員への直接mail